



発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区長嶺南 1-5-4 0  
TEL：096-382-0861 FAX：096-285-7755 <http://1985orange.com>

# 七ねふねたいの思い出 ホワイトデーの思い出

🍊 よう

ホワイトデーの思い出といえば、小学・中学・高校時代に隣の家のねえちゃん達と近くの家のねえちゃん達が毎年バレンタインをくれていたので、お返しにクッキーとかエプロンを渡していたのを覚えています。

学生時代は、ホワイトデーの日になると、カバンの中にクッキーを入れて、もらった相手にクッキーをやっていました。いつもバレンタインに2、3個もらっていて、本命もあったりしていました(笑)

この時期になると、学校自体がなにかソワソワしていたかのように思います。家に帰ると親から「誰かともだちで今日クッキーばもらった人はおったね？」と親が言っていました。反抗期もあって「知らんよ。」と素っ気なく答えていました。今思うとこういう時もあったなーと、懐かしく思います。

最近のバレンタインは、嫁と義理姉から毎年もらっています。ちなみに今年もバレンタインをもらいました(笑)。

ホワイトデーのお返しは、毎年おれんじ村のホワイトデーギフトを贈っています。いつもおいしくて喜んでもらっています。

今年もおれんじ村のホワイトデーギフトはいかがですか？ご注文お待ちしております。

## 前回のホワイトデー

～クッキーを送ってみた照れくさい思い出～

🍊 まーくん

こんには。前回のホワイトデーは、両親に感謝の思いを伝えてみました。まずは、母親に渡しました。私は、よくライブに行くのですが、大阪の駅は一人では道が分からないので、母に付いてきてもらって案内をしてもらっています。その感謝の気持ちを込めておれんじ村のクッキーを贈りました。『ありがとう。コロナが治まったら、またコンサート行こうね。』と言ってくれました。渡せて良かったです。母も高齢なのでいつまで一緒に行けるか、わかりません。いつまでも元気にいてほしいです。

次に、父親に渡しました。父とは仲が悪いです。よくケンカもします。何回も「出て行け！」と、言われたか分かりません。けど、僕がけがをしないのは父のおかげかな？なぜなら、けんかをして、いつも僕を抱えてくれたり介護をしてくれるからです。なので、その感謝の気持ちを込めてクッキーを贈りました。『ありがとう』と照れながら父が言ってくれて、うれしかったです。

皆様も両親やお友達に、おれんじ村のホワイトデークッキーを感謝を込めて贈ってみてほしいです。いかがでしょうか？今回も両親にあげたいと思います。



# メンズポッキーとトイストーリーのクッキー ～いつも思い出す僕の青春～

🍊 じん け

僕のモテ期。高校生。

クラス一番のマドンナから、突然の手紙!!

A4のルーズリーフに、ぎゅーりと書かれた丸文字。

『今井美紀のプライドを聞いて…。』と続く文章。

そうなんと、人生初のラブレター。それもクラスのマドンナからのラブレター。最高に嬉しくて。心臓はバクバク。手が震えて、なかなか最後まで読めなくて、信じられなくて、何度も読み返した。

もちろん、即OK。のはず。嬉しいのに、複雑な気持ち。

なぜって、それは、中学時代の一番の親友2人。

そして高校でいつも一緒につるんでいた親友が、彼女のことを好きなことを知ってたから…。

どうしたかって、もちろん彼女を選んだ僕。友情よりマドンナを選んだ僕。その後も、まだまだ続くモテ期。

次は、なんと学校一番のマドンナの誘惑。あつという間に、いい感じに。もちろん、嬉しくてデレデレとする僕。大事な親友よりも、クラスのマドンナを選んでお付き合いしているのに…。

でも、やっぱり学校一番のマドンナに言い寄られたら、そらあデレデレでしょ。クラス一番のマドンナに、学校一番のマドンナ、もう人生最高のモテ期到来!!

そんで調子にのって、調子にのったその先は…。もちろん。

僕のモテ期、終了。

クラス一のマドンナも、学校一のマドンナにもフラれて、大切な親友とも微妙な感じ。僕に残ったのは何もなくて、ただただ学校に行っては授業中と休み時間は、(クリスチャン系の学校で)聖書と讚美歌を枕に寝るか駅のホームで拾ってくる少年ジャンプ・マガジン・サンデー、ヤングジャンプ、ヤングマガジンなんかを読んで過ごす日々。

そんな時期が長く続き、やってきたバレンタインデー。

いつもバレンタインをくれるのは、かあちゃんと、産まれた頃からずーっとかわいがってもらっている保育園の先生ぐらい。もちろん学校で僕にチョコをくれる人はいない。いつものように、休み時間は聖書と讚美歌を枕にして、寝て過ごす。隣で、女子がバレンタインの話をしている。僕の隣の席の、男勝りで何でもはつきりと言う気の強い女の子が、『男子は、チョコ貰えると思って学校に来よってかな?よう学校来れるよね!!』と大きな声ではなしている。

モテ期が過ぎて、ずーっと一人の僕。

心の中で『どおせ、もらえんし。いやいや学校に来よってたい。

バレンタインなんてえ』と叫びながら、聖書と讚美歌を強く抱きかかえて机にうつ伏せになって寝た。

そして、学校も終わり放課後、隣の席の男勝りの気の強い女の子が『はい。』と、ぶっきらぼうにメンズポッキーを差し出した。チョコを渡すような女の子ではなかったので、まさかのことでびっくりとして、『ああ』と、彼女以上にぶっきらぼうに受け取って、教室を出た。帰りの電車の中、一緒に帰る友達から離れ、4人がけの席で一人メンズポッキーを食べた。

僕は小さいころに、車の中でチョコを食べて吐いてしまってから、チョコはほとんど食べなかった。でも、久しぶりに食べたチョコレートは甘くて、ほんのり苦くて、とってもおいしかった。

僕にとって、メンズポッキーは思い出の味になり、大好きなチョコレートになった。モテ期にももらったチョコよりも、そして今でもメンズポッキーが僕の一番のチョコだ。

でも今、メンズポッキーは製造中止となり、もう食べることができなくなった。さみしい。僕の思い出が。もう一度食べたいなあ。もちろん、チョコを貰ったらお返しが。そう、ホワイトデー。

僕は、メンズポッキーのお返しは何がいいかととても悩んで、あんまりがんばるとかっこ悪いと思ってホワイトデーの朝に熊本駅のホームのキオスクでトイストーリーのクッキーを買って登校した。

でも、僕は…ホワイトデーに彼女へトイストーリーのクッキーを渡すことができなかった。数日クッキーをカバンに入れたまま登校したが、毎日、今日こそはと思うが、なかなか渡せず…。最後は、自分でくしゃくしゃになった箱を開けて食べた。メンズポッキーとトイストーリーのクッキー。今でも、この時期になると思い出す僕の青春。

そう、いつかクッキーをお返ししたい。

もし、彼女に会うことがあれば、次は必ずクッキーを渡したい。もちろん、『おれんじ村のホワイトデーのクッキー』を…。

こんには。新社屋は無事稼働しております。本格稼働まであと2カ月となりました。みんなだんだんと慣れてきています。徐々に軌道に乗っていきたくらいいなーと思っております。お客様により安全・安心で美味しなお弁当を作っております。ありがとうございます。

3月といえば、ホワイトデーの時期。バレンタインのお返しにおれんじ村のホワイトデーのギフトはいかがでしょう? まだ間に合うホワイトデー。ご注文をお待ちしています。まだまだコロナが猛威を振るってます。コロナに負けず手洗いうがい・三密回避を徹底しましょう。

I T 部 E